



私たちは B6 チームとして今季すすめてきました。B6 チームは白樺湖ファミリーランドに来る人を「+10000人」という課題でした。それについて B6 で話し合った結果、白樺湖の前提の課題として「白樺リゾートとしての知名度は高いが、旅行に来てもらったグループに必ずしも満足してもらえないのではないか」というものがありました。白樺湖に現地調査に行ったら社長のお話をお聞きしたところ県外の家族連れよりも県内の家族づれが多いという事でした。そこでその課題の対策として「県外の家族層をターゲットにする」としました。その結果 B6 が考案した企画は『白樺湖の四季を体験してもらう』です。

春の企画案の説明です。

春では、山菜取りと料理、自然豊かな田舎での生活を味わうなど自然体験に特化した企画を作りました。使う場所として、白樺湖の周辺の野原を利用するなど考えました。ターゲットとして自然の楽しさ、田舎の暮らしの体験をしたい人、都会暮らしに疲れた人、自然の体験を子供にさせたい親などです。企画内容は、自然を利用して野草を植えられる場所を作るそれを料理することです。山菜取りできる野草の種類としては、フキノトウ、ヨモギ、ゼンマイなどがある。作る料理は、ヨモギ団子、フキ味噌、山菜の天ぷら。山菜の天ぷらの材料としては、タラの芽、ワラビなどが挙げられる。スケジュールの流れは、10時に散策をして、山菜取り、12時に昼食、1時に収穫した山菜で料理を開始し、3時に試食となっている。

夏の企画案の説明です。

夏と言えばやはり定番であるプールに関連した企画が相応しいということになりましたが、水場は遊び方のバリエーションが少なく一般的に泳いだりするくらいしか遊び方が存在しません。そこで、【夏のプールを戦場に】ということでプールを使用した「いかだバトル」を提案することにしました。

具体的にはプールを二分割し、その半面を使ってチーム対抗バトルをしてもらうことにしました。また、もう半面はバトルに参加されない一般の方を考慮して開けておくことにしました。

いかだはペットボトルを使用して作成します。

勝敗に関しては、いかだの旗に設置した紙風船を参加者に水鉄砲で狙っていただき、先に風船が割れたチームの敗北となります。

秋の企画案の説明です。

秋の企画案は白樺リゾートにある運動施設を利用してスポーツ大会を開催します。

家族で参加できる室外スポーツ大会を開催します。マレットゴルフなどでポイント勝負やスワンボードを使っての湖上競争、アスレチックを使ってのタイムアタックを考えています。室内での競技はカラオケでのど自慢大会やボウリング大会ができればと考えています。各競技の勝敗の決め方についてです。マレットゴルフやボウリング、カラオケは家族の点数の合計点数

で勝敗を決めます。湖上競争やアスレチックはタイムで勝敗を決めます。優勝したチームには宿泊券やフリーパスなどの景品を考えています。

冬の企画案の説明です。

冬の企画案は、白樺湖をその聖地計画である。この企画は冬の季節は白樺湖ファミリーランドが使えないため、それ以外で何か白樺湖でできないかと考えた結果、白樺湖周辺にあるスキー場を利用して新しいものを作ろうと考えたのがその聖地計画である。国内にはスキー場をそりで滑走できるところもあるが距離がかなり短い。そこで、スキーのようにそりも滑走できるコースを建設して白樺湖周辺のスキー場を国内にないそり場に、お客を呼び込みたいと考えた。

そり場の実例としてスイスのゲリンデルワルトではゲレンデをそりで滑走できるスキー場が存在し子供から大人までそり遊びが盛んに行われています。このスイスの例をもとに白樺湖でもできないかと考えた。冬の企画でのターゲットとして県外のそりをやったことのない家族や学生を呼び込もうと考えた。

企画の内容として、白樺湖周辺にあるスキー場のゲレンデの一部をスキーのように長距離をそりで滑走できるコースを建設し、その場所を滑走してもらいそりの楽しさと爽快感を味わってもらう。コースの種類としては勾配が少し急な競争コースと林の中を滑走できるアドベンチャーコースの建設を考えている。競争コースではイベントとしてトーナメントを行いそり遊びの爽快感を味わってもらう。優勝した人には商品の贈呈をする。そりはレンタルにし、そりの種類もいくつか用意して多彩なそり遊びを体験してもらいたいと考えた。そりの種類は木製のそりとハンドルで方向を操作でき、スピードも出るスノーレーサーを用意しようと考えている。



申し込みについてです。

四季申込みという各季節一泊二日の申し込みをします。種類についてはツアーと個人で予約できるようにします。価格は各季節一泊二日来るよりも安くします。例えば各季節10000円だとすると10000×4で40000ですが、四季申込みにするると各季節8000円で8000×4で32000になるなどです。ツアーでの客が多くほしいのでツアーはバス代無料などを付け

ます。また、スポーツ大会時での施設無料化や、ソリの貸し出し割引などすることで増やそうと考えています。そして前払い制にすることで2500人来れば確実に10000人に到達します。

企画案の課題です。春の企画案課題は、山菜取り出来る場所をどうやって作るかと料理をおこなう場所の提供です。夏の企画案課題は、プールを半面使用するため普通に泳ぎたい人の場所が減ることとペットボトルの不足です。秋の企画案課題はスポーツ大会参加者以外の人へのスペースの確保と怪我した時の対応と処置です。冬の企画案課題はソリの走るコースをどうやって作るか滑走時の安全性についてです。

企画案のまとめです。春は自然の味・香りを体感してもらおう。夏は創造工作で一風変わったプール遊びを体験。秋は運動を通して家族の絆を深めてもらう。冬は県外家族にソリの楽しさを味わってもらう。そして四季それぞれの企画で自然を楽しむということなのです。

また、四季申込みでサービス面を向上させ、リピーターを増やすことも考えています。

追加案の説明です。

これまで季節ごとの企画を出してきましたが、もしもあまり集客が見込めない場合のために、もう一つツーリング・ドライブを楽しむ方向の案を出します。

白樺湖の近くにはビーナスラインという道が走っています。この道は、ドライブはもちろんのこと、ツーリングも可能です。また、二輪車（バイク含む）の所有者は年々増加傾向にあり、白樺湖の利用客も増えるのではないかと考えます。そこで、白樺湖リゾートにある温泉や食堂などの施設を使い、これらのお客様向けに格安料金で宿泊プランを提供することをご提案します。

最後にチームワーク力の成長の説明です。チーム内の会話が少なく意見が出てこなかったが、LINE を用いたことでグループ間の会話が多くなった。場が和んでいき意見が出るようになった。

以上で説明を終わります。

諏訪東京理科大学

〒391-0292 長野県茅野市豊平 5000-1

TEL : 0266-73-1201 (代表)

FAX : 0266-73-1230